

特集  
**03**

# 高速道路における インバウンドへの取り組み

NEXCO東日本では、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催時の外国人旅行者や、観光・ビジネス等で日本を訪れる訪日外国人の増加などへの対応として、高速道路におけるインバウンドへの取り組みを進めています。

## ☑ 高速道路ナンバリングの導入・推進

高速道路ナンバリングの実現に向けた提言(2016年10月24日)を踏まえ、高速道路上のJCT・IC出口標識および主要な空港・観光地周辺の市街地案内標識へ高速道路ナンバリングの導入を推進し、2020年までの概成を目標としています。



東北道 下り線 久喜白岡JCT



外環道 外回り 京葉JCT ※2018年6月2日開通

### 高速道路ナンバリング対応標識の種類

<p>JCT案内標識</p> <p>東北道 下り線 安代JCT</p>	<p>確認標識</p> <p>道央道 下り線 深川JCT手前</p>	<p>市街地案内標識</p> <p>東北道 岩槻IC</p>	<p>路線確認標示板</p> <p>日本海東北道</p>
-------------------------------------	------------------------------------	--------------------------------	------------------------------

## ☑ インバウンド向け周遊パス

近年の外国人旅行者の増加を受けて、高速道路を利用して各地を訪れていただけるよう、レンタカー会社と連携し、訪日外国人向けの定額商品を販売しています。



## ☑ 免税店の展開



免税販売 (常磐道 友部SA(上り線))

ショッピングコーナー内に免税対応カウンターを設け、訪日外国人のお客さまに対して食品類をはじめとした人気の高い商品を中心に、免税販売を行っています。2015年9月に関東東道の大栄PA(上下線)で営業を開始し、現在17カ所\*のSA・PAで展開しています。今後もさらなる店舗数拡大に向けて、整備を進めていきます。  
\*2018年7月1日現在

## ☑ インフォメーションでの多言語案内

タブレット端末を用いた周辺施設などの多言語案内を行い、訪日外国人のお客さまの利便性の向上を図っています。また、日本政府観光局が認定する「外国人観光案内所認定(カテゴリー1)」を全てのインフォメーションで取得し、今後も訪日外国人のお客さまが快適で便利に高速道路をご利用いただけるよう、サービスの向上に努めていきます。



外国人観光案内所認定



タブレット端末を用いた多言語案内

## ☑ ピクトグラム・多言語化



ピクトグラム標示 (京葉道路 京葉市川PA(下り線))

トイレなどSA・PAの各施設の配置について、訪日外国人のお客さまにもご理解いただけるよう、多言語を併記した国際シンボルマークやJIS規格によるピクトグラムでご案内しています。